

法律学演習Ⅳ

科目ナンバリング SEM-402
選択 2単位

鬼頭 誠

1. 授業の概要(ねらい)

法は、国内や外国との政治問題、経済問題、社会問題に広くかかわりをもっています。その實際を勉強します。すなわち、日々の時事ニュースを読み、法的な問題に取り組みます。

法学や政治学の分野は、就職活動において、また一般の公務員や警察官・消防官・自衛官などの試験では、その知識が試されます。ジャーナリズムの世界に関心のある人も歓迎します。

授業は、民主国家の国民の一人としてもつべき法的教養や、就活・試験に役立つ知識を培うことも考えながら進めます。法律学演習Ⅱでは、春学期に続いて、国会の動きにも対応しながら、憲法条文改正の可能性をはじめさまざまな政治課題を探り、提案と討論の実践を通じて、民主政治のあり方を体験していきます。

授業は毎回録画録音され、講義終了後、LMSで、視聴することも可能で、復習や補習につかえます。

2. 授業の到達目標

実用的で発展的な演習内容の理解と応用ができる

主権者としての意識が向上する

発表、討論を通じて就職試験対応力が向上する

3. 成績評価の方法および基準

授業への貢献度(発言、発表等)50%と提出レポート50%などで総合評価

4. 教科書・参考文献

教科書

読売新聞東京本社憲法問題研究会編 電子書籍『初学者が分かる解説 日本国憲法』(各授業前にLMSで資料配信)。

参考文献

『デیلیー六法』

『ポケット六法』

『セレクト六法』などコンパクトな小六法。

日刊の新聞各紙。

松浦一夫著 『憲法概説』(2017年)。成文堂

栗山尚一著 『戦後日本外交』(2016年)。岩波現代全書

5. 準備学修の内容

授業でもらったプリントやLMSを中心に、授業のあったその日のうちに習ったこと、考えたこと、議論したことを確認しよう。発表当番は事前の調査、発表文の作成をします。発表後、まとめのレポートを書き、次回提出します。

6. その他履修上の注意事項

シラバスは目安で、適宜変更することがあります。日々の新聞報道を活用した授業を心がけます。

講義の内容は毎回録画され、LMSで、視聴することも可能で、復習や補習につかえます。

7. 授業内容

【第1回】 春学期に続き、毎回の上記テーマに関する発表当番による発表と討論、講評。

憲法を扱う場合は、その解説を超えて改正案に踏み込む。

あるいは、参考文献『戦後日本外交』や毎日の新聞から、適宜、戦後の日本外交、憲法問題に関するテーマを選定する。

【第2回】 学生の提示する内容によって授業が進みます。

【第3回】 学生の提示する内容によって授業が進みます。

【第4回】 学生の提示する内容によって授業が進みます。

【第5回】 学生の提示する内容によって授業が進みます。

【第6回】 学生の提示する内容によって授業が進みます。

【第7回】 学生の提示する内容によって授業が進みます。

【第8回】 学生の提示する内容によって授業が進みます。

【第9回】 学生の提示する内容によって授業が進みます。

【第10回】 学生の提示する内容によって授業が進みます。

【第11回】 学生の提示する内容によって授業が進みます。

【第12回】 学生の提示する内容によって授業が進みます。

【第13回】 学生の提示する内容によって授業が進みます。

【第14回】 学生の提示する内容によって授業が進みます。

【第15回】 全体のまとめと討論会

(注)テーマは、時事ニュースの動向により、変更する場合があります。